

# 文字もじ MOJI の世界

## 20. 読みやすく親しみやすい新聞紙面デザインを考える

阿部浩之\*

新聞は1997年の5377万部をピークに、3990万部に減少したが、いまだ最大の情報印刷媒体だ。

イワタは活字時代から新聞に深く関わり、現在もUD新聞書体等のフォントを提供している。

今回は「新聞をより読みやすく」「新規読者拡大」を目的に、新聞紙面デザインの調査を行った。

調査は、静岡文化芸術大学工学博士小浜准教授、静岡新聞社、当社が協力した。

対象者は、高齢者27人、一般約150人、大学生約160人。

調査用テスト紙面は、静岡新聞社の新聞輪転機で印刷した。

調査ポイントは以下の2つ。

1. 現在の読者が読みやすい新聞組み体裁を知る
2. 将来の読者である若者が親しみやすい新聞紙面デザインを知る

### 現在の読者が読みやすい紙面デザインとは

新聞購読者の9割以上を占める中年・高齢者に対応するため、新聞各社は文字サイズの拡大や紙面の基本体裁を15段から12段にするなどのデザインを変更した。その結果、本文文字の扁平率は、従来標準の80%扁平ではなく、79%から87%程度までの扁平率にばらつきがでるようになった。また、段数や行数などの基本

体裁も新聞社それぞれで違いが生まれてきた。

そんな体裁（紙面デザイン）の違いにより、見やすさ読みやすさが変わるかどうかを調査した。

### 扁平率の違いによる見やすさの調査

目的：文字の形状。扁平文字（つぶれ具合）、文字の大きさ、太さの若干の変化がどのように認識され、見やすさに影響しているのかを確認する。

条件：本文文字の扁平率を87～79%の2%単位で変更。書体は「イワタUD新聞明朝」、行長・行間とも同一、字送りベタで組版。1ページに扁平率の違う6種類の記事を配置したテスト紙面を作成・印刷した。行長が固定のため、扁平率が高くなるに従い文字の左右幅は広がる。よって扁平率79%の文字が大きく見える紙面デザインになる。

結果：①70歳以上の読者には、扁平率79%（文字が大きく見える）が好評。②40歳代以下の読者は2極化し、扁平率の高い方、低い方とも支持された。

これにより高齢者は文字の大きさや文字の濃さ（文字が大きくなると線幅が太く見える）に敏感に反応する傾向が高いことが確認された。40歳以下の読者にはそのような特性は見られなかった。

### 紙面基本体裁の違いによる読みやすさ調査

目的：新聞社により1ページの段数（12段か15段）や1行の文字数、文字サイズや扁平率などの組み体裁が違う。その違いで読みやすさの特徴があるかどうかを確認する。

条件：現在発行されている複数の新聞紙面をスキャニングしIllustratorに取り込み、実紙面に極力近づけた体裁の記事を作成、体裁の違う6種類の記事を1ページにまとめ印刷。扁平率の調査と同様に記事、書体とも同じものを使用した。

結果：被験者全体でもっとも支持されたのが記事⑥と③。70歳以上に絞ると⑥がもっとも多い。⑥③とも12段組、1段12文字の仕様だった。

40歳以下では⑥④③の順で支持されたが、高齢者のような⑥への偏りはなかった。扁平率の調査結果と違い、高齢者が比較的文字が小さく見える⑥を選択したことに大きな驚きがあった。

そこで、各記事の体裁を数値化し、比べてみた（表1）。文字サイズに対する行間と段間の比率が読みやすさに影響があった。特に⑥④とも段間が広くとられていた。そこから導かれたことは、「文字は小さくても文字まわりに空間

## 伊豆仮設費は組織委負担

### 県「恒久改修も支援を」

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

## 伊豆仮設費は組織委負担

### 県「恒久改修も支援を」

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

## 伊豆仮設費は組織委負担

### 県「恒久改修も支援を」

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

なっている。伊豆半島仮設費は、建設費の総額の約5割を占める。伊豆半島仮設費は、建設費の総額の約5割を占める。伊豆半島仮設費は、建設費の総額の約5割を占める。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

#### 伊豆半島仮設費負担検討委員会

【2019年5月31日 八戸市】2019年5月31日、八戸市では、伊豆半島仮設費の負担について、市議会が市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。この委員会は、伊豆半島仮設費の負担について、市議会議員の有志からなる「伊豆半島仮設費負担検討委員会」を立ち上げた。

① A 新聞  
15段, 10文字, 扁平率 81%

あること、特に段間に余裕のある体裁が読みやすい」ということだった。

アンケート中に被験者から「段落の読み始めの頭出しがずっと入る方が良い」という謎めいた発言があった。高齢者のぼやけた見え方をイメージし、この数値を見ると、謎の言葉の意味を理解することができた。前述の2つの調査から導かれた結果は以下の通りである。

- ・高齢者は大きい文字を見やすいと感じる。また、行間や段間という文字まわりの空間があいている方が読みやすいと感じる。
- ・40歳以下は扁平率や組体裁の違いによる読みやすさへの影響は少ない。

これまで、新聞各社は、読者の多くを占める中年や高齢者に対応するため文字を拡大してきた。またそれに加え、文字まわりの空間確保が重要だとわかった。

② B 新聞  
12段, 13文字, 扁平率 79.2%

**若者が望む新聞デザインとは**  
情報入手の手段は、Webなどの電子媒体がメインになった。速報性、拡張性を考えると当然の結果だが、情報を固定化しじっくり読むために紙の存在は欠かせない。新聞離れが進むなか、学生たちが新聞をどうとらえ、どうすれば自分の身近な媒体になり得るかを、新聞のデザイン面から調査した。筆者が特別講義を行う大学で、学生160人にアンケートを行った。

対象人員：160人  
調査方法：個人個人に新聞を配布し、1週間後に回答を回収し分析した。配布した新聞は静岡新聞。

#### 現状

- ① 自宅実家も含め、新聞宅配率は61%
  - ② 新聞閲覧率は、毎日読む1%、たまに読む13%、ほとんど読まない35%、全く読まない51%
- これにより学生の「身近に新聞

③ C 新聞  
12段, 12文字, 扁平率 84.7%

はあるがほとんど読まない」という現状が見えた。

#### 新聞読後感想

宿題として読んでもらった感想には意外なものがあった。新聞の記事量、書体、読みやすさとも現状紙面に満足し、かなり肯定的にとらえていたことだ。しかし、「紙面サイズが大きすぎる」と感じる学生が57%もいた。また、段をつないで右下に流れる新聞独特の記事流しに読みにくさを感じる声



\* HIROYUKI, Abe  
株式会社イワタ 取締役第一営業部部长  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-9 滝清ビル  
mail:h.abe@iwatafont.co.jp



# 伊豆仮設費は組織委負担

## 県「恒久改修も支援を」

2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支援  
支援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は  
2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支  
援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は

# 伊豆仮設費は組織委負担

## 県「恒久改修も支援を」

2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支  
援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は  
2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支  
援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は

# 伊豆仮設費は組織委負担

## 県「恒久改修も支援を」

2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支  
援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は  
2000年の地震以降、ハ  
ツリレックスの被災者支  
援活動の一環として、伊  
豆仮設費は組織委員会に  
「伊豆仮設費」は、伊  
豆の復興に際して、仮設  
住宅の整備が重要で、伊  
豆の仮設費は組織委員会  
が負担する。伊豆半島は

なっている。伊豆半島の住  
民は、仮設の生活を苦  
しみ、恒久改修を求  
めている。伊豆半島の  
復興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。

### 静岡県地方議会 議長連絡会が総会

静岡県地方議会  
議長連絡会が総会  
を開催し、伊豆半島の  
復興に関する課題を  
討議した。伊豆半島  
の復興は、県民の生  
活に大きな影響を及  
ぼすことになる。伊  
豆半島の復興は、県  
民の生活に大きな影  
響を及ぼすことになる。

### 静岡県内市町村の 議員連帯会が総会

静岡県内市町村の  
議員連帯会が総会  
を開催し、伊豆半島の  
復興に関する課題を  
討議した。伊豆半島  
の復興は、県民の生  
活に大きな影響を及  
ぼすことになる。伊  
豆半島の復興は、県  
民の生活に大きな影  
響を及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

### 伊豆半島の復興 に関する課題を討議

伊豆半島の復興に  
関する課題を討議  
した。伊豆半島の復  
興は、県民の生活に  
大きな影響を及ぼす  
ことになる。伊豆半  
島の復興は、県民の  
生活に大きな影響を  
及ぼすことになる。

#### ④ D 新聞

12段、12文字、扁平率 85.4%

も数多くあった。

この結果、①新聞は読めば面白  
いと肯定的だが、②紙の大きさと  
複雑な記事流しがマイナス要因  
で、③身近にあるのに手に取ら  
ないという現状が見えてきた。

#### 新聞への要望

では、どうすれば新聞を手取る  
ようになるのだろうか。学生の  
回答は次の通りだった。

- ①紙サイズを小さくする
- ②目次をつける
- ③ブロック組にする
- ④横組みにする

表 1 各新聞の体裁の比較

紙面番号	文字サイズ	扁平率	行送り	行間	①行間比率	段間	②段間比率	①+②	順位	①+②値の 対⑥比率
①	11.3	81.08	15.26	3.96	35.0%	6.083	53.8%	88.8	5	74.3%
②	11.25	79.2	15.05	3.80	33.8%	6.136	54.5%	88.3	6	75.5%
③	11.05	84.7	14.98	3.93	35.6%	9	81.4%	117	2	97.9%
④	10.85	85.4	15.05	4.20	38.7%	7.696	70.9%	109.6	3	91.7%
⑤	10.87	83.9	14.83	3.96	36.4%	6.083	56.0%	92.4	4	77.3%
⑥	11.05	85.0	15.26	4.21	38.1%	9	81.4%	119.5	1	100.0%

#### ⑤ E 新聞

15段、10文字、扁平率 84%

これを組み合わせると伝統的な  
新聞デザインではなく、スマホ  
やPCの画面に近いデザインにな  
る。日常見慣れたデザインが読み  
やすさの基準になっていることが  
わかる。また「スターボックスに  
持っているようなおしゃれな新聞  
にして欲しい」という回答もあ  
った。新聞を読み慣れている読  
者にとっては違和感を感じる可能  
性がある内容だが、新しい読者を  
得るためには避けて通れない重  
要な検討課題だと思う。

#### 相互補完関係

今後の情報媒体は、ますます  
Web等にシフトしていこう。し  
かし、一覧性や固定化された表

#### ⑥ F 新聞

12段、12文字、扁平率 85%

現など、紙の特性と上手く組み  
合わせてゆくことで、より情報が  
正確に伝わりやすくなるはずだ。  
速報はWebで得て、新聞で詳  
細を知る、という相互補完関係  
が理想的な姿だと思う。新聞は  
今後の発展のために「現状の読  
者」と「将来の読者である若  
者」の意見を組み合わせ、紙面  
デザインが進化してゆくことを  
期待したい。

最後に、共同研究者である静岡  
文化芸術大学の小浜准教授、静  
岡新聞総合印刷の齋藤氏、調査  
に協力いただいた皆様に謝辞を  
申し上げます。